

## 〈個人質問〉

迫哲郎議員、新人の宮本直樹議員、岡田はるか議員、藤木真由美議員の4人が個人質問に立ちました。



### 中卒まで医療費無料へ前向き答弁

6期目の出馬表明をした市長に対して、政治姿勢をただし、一定の変化をうかがわせる答弁を引き出しました。財政状況も含め、子どもの医療費は中卒までの無料化を求めた質問に対して、市長は、課題である財源の問題にメドをつけていきたいと、初めて前向きの答弁がありました。

また、西敷地問題について、立入禁止状態をつづけるのではなく、当面広場として整備すべきではないかとの質問には、ロープ張りのままではよくない、広場としての暫定整備について、委員会に報告したいとの答弁がありました。

マイナ保険証について、来年秋の現行保険証廃止に反対し、仮に廃止された場合も資格確認ができる証明を必要な全市民に自動交付することを求めたのに対し、市としては、職権（自動的に）交付できるよう国に要望しているとの答弁がありました。

### 職員の大量欠員問題

#### 「解消へ全力で取り組む」 との答弁を引き出す



人員管理を所管する総務部に対し「現在 100 名を超える職員の欠員がある。コロナ感染症対応も重なり、職員には大きな負担となっている。また、中堅職員の途中退職も減らない状況もある。市民サービスの安定的な提供や職員の健康保持のためにも、欠員解消には全力で取り組まなければならない」と追及しました。総務部長は「欠員は職員にとって大きな負担となっている。職員の健康保持も喫緊の課題。欠員解消に向け、全力で取り組む」との答弁を引き出しています。

### 学校からプールがなくなる？ ～保育・教育条件の充実を求める

高知市立学校における教員の働き方の実態、教員不足、特別支援教育などについて質問しました。



教員の時間外労働は、全国よりは少ないが、決して満足できるものではなく、今後も学校とともに働き方改革に取り組むという答弁でした。

市内の小中学校のプールが老朽化し、「プールの今後の在り方に関する検討委員会」が5回の予定で開催されています。その中で民間プールを活用するなどの事例などが紹介されています。老朽化の激しい朝倉中学校については直ちに修繕すること、他の学校については時間をかけ計画的に検討することを求めました。

保育士の配置の改善と特別支援担当保育士の加配について求め、さらなる充実を検討するとの回答を得ました。



### 男女の便器個数比率を検討し直し、 女性トイレの混雑解消求める

今の基準では、女性のトイレの待ち時間は男性より長くて構わないと言うに等しいものだと指摘し、今後のまちづくりや公共施設の建設の際に女性の混雑を解消する格差是正の視点で整備方針を定めることが必要ではないかと質問しました。市長は「現時点では一律の整備方針は設けず、施設ごとに用途や利用状況を分析し、検討をおこなっている。女性トイレの混在解消等のトイレ利用における格差是正やジェンダー平等の視点を踏まえ、最適な整備内容を検討していく」と答えました。

2022年に実施し、市民の皆さんから返信をいただいた「高知市政・市民のくらしアンケート」の結果をまとめました。

日本共産党高知市議団ホームページに掲載しています。ご覧ください。見られない方は、ご連絡いただければ、送ります。

\* \* \* \* \* \*ご要望など、お気軽におよせください。\* \* \* \* \*



下本みお



さこ哲郎



浜口かず子



宮本なおき



岡田はるか



ふじき真由美